

次世代ネットワーク型監視カメラのプライバシー保護研究専門委員会議事録(案)	
会議名	第 6 回 次世代ネットワーク型監視カメラのプライバシー保護研究専門委員会
日程 場所	2016 年 11 月 30 日(水)16:00～18:15 産業技術大学院大学 265 会議室
出席者 (敬称略)	計 17 名
議題	1. PIA 実施 ・影響評価 ・最終報告書 2. 改正個人情報保護法に関する政令など調査 3. カメラ調査 4. 次年度の取り組み方針 5. 次回の予定
配布資料	20161130-00 第 5 回議事録 20161130-01,02 開催通知およびアジェンダ(第 6 回研究会資料) 20161130-03,04 影響評価、PIA 報告書 20161130-05,06 EU 改訂(配布のみ) 20161130-07,08 カメラ調査 20161130-09 製品分類(配布のみ) 20161130-10 次年度の取り組み<本玉氏より別途配布> 20161130-11,12,13 政令調査 20161130-14 PIA マニュアル(配布のみ)
No	議事詳細
1	議事録の確認 ・WG 委員からの指摘事項等特になく、承認されたため正式発行とする(瀬戸)
2	カメラにおけるセキュリティ事故 ・ネットワークカメラの問題について調査を行い、報告書にまとめた。 → 横浜国立大学でハニーポットによる研究が行われており、DDoS の 4 割以上が組み込み機器(個人用のインターネットルータなど)からの攻撃であることが分かった。製品仕様に問題があり、個人による対策は難しいのではないかと。日本の産業機械(ネット対応)にも問題があることが分かった。共通の指針が必要なのではないかと(委員意見)
3	PIA 報告書 ・影響評価後の報告書作成について説明(浦田) ・影響評価の実施について説明(下村) → 評価基準の○、×と重大な不備、不備との違いは(委員意見) → ○、×は評価シートの基準、重大な不備等は双方向ギャップ分析であり、不備とはリスク分析で抽出したリスクが評価シートに存在するか、存在しない場合は法令・ガイドラインに不備があるということである。(下村) → 法律で禁止されているものは明確だが、グレーゾーンのシステムに対して明確に禁止をするような PIA 結果となってしまうと、万引き犯のタグ付けをするようなシステムの設置・運用にあたり、PIA をしないほうが良いという議論になってしまうのではないかと。(委員意見)

	<p>見) →業界規定でPIA 必須とされていれば、PIA を避けようがない。違法なシステムであれば運用されるべきではないし、PIA をもとに改善可能であれば設計に取り込むべきである。(委員意見) →PIA は厳密な法的解釈ではなく、個人の利益を守るための判断を行うので、グレーであれば黒と判断を行う。(瀬戸) →万引き者へのタグ付けに関しては、説明責任の問題である。設置表示にその旨が記載されていれば問題ないのではないか。(委員意見)</p>
4	<p>政令調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・匿名加工情報について説明(下村) → 識別行為については個人で行うことは明記されているのか(瀬戸) →個人情報保護法のガイドラインであり、個人情報取扱事業者、匿名加工情報取扱事業者が対象となるため、個人による識別行為については記載はない。匿名加工情報のインターネットでの公開について、ガイドラインに記載があるため、個人による再識別が行われる可能性もあるのではないかと。(下村) →万一個人による再識別行為が行われてしまった場合、加工事業者の責任ということになるのではないかと。(委員意見) →現時点での一般的な技術により (おいて) 復元可能ということで、技術の進歩に伴って識別行為が可能となったら、そのときにはその時点での一般的に復元不可能な技術を使って加工することになる意味であろう。 (新たなガイドラインが必要となるだろう) (委員意見) ・第三者提供時の確認・記録義務について説明(浦田) →監視カメラに関係することはあるのか(瀬戸) →カメラで取得したメタデータが関係するのではないかと(委員意見) ・海外第三者提供について説明(浦田) →EU からは、日本の個人情報情報は十分性認定されていないなど、海外からは相手にされていない。(瀬戸) ・その他 →JIPDEC から監視カメラ関係のガイドライン案が出たので次回発表予定(瀬戸)
5	<p>次年度の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本画像認識協会より実証サイトの説明(本玉) ・次年度は仮想的ではなく、実際のサイトで2件程度検討しており、今年度作成したマニュアルを用いて影響評価を実証したい(瀬戸)
6	<p>次回の委員会予定(瀬戸) 日時: 12月14日(水)16:00~18:00 場所: 産業技術大学院大学 会議室 議題案: カメラガイドラインのリスク分析 他</p> <p style="text-align: right;">以上</p>